

## 島根県原子力講演会2015（出雲会場） 参加者ご意見、ご感想

### 【ご質問】

Q5 本日の講演会の感想などをご自由にお書きください。

### 【ご回答】

- ・行政と市民でやるべきことからやっていくことが大事と感じました。最悪の事態ばかり考えていたら進めていくことができないと感じました。
  - ・もう少し具体性のある内容が良かったです。防災計画に記載する内容の説明を受けているようでした。計画を作った、次は何をするのかという話が聞ければ良かった。
  - ・リスクマネジメントに対する考え方について行政として、今後どの様に対応すべきか、考えさせられました。また、行政と市民、事業者が事前に情報共有することが大切であると感じました。
  - ・とても参考になりました。
  - ・先生のお話について理論はよく分かりました。もう少し具体的に今できる対策として何があるか等の話があればよかったです。何かアドバイスのなものでもいいので具体的な対策の例など考える上での一助となるものがあればよかったですと思います。
  - ・行政の立場として原子力防災を真剣に考えたことがなく、今日の講演を聞かせて頂いたことにより、今後真剣に考えられるきっかけになったと思います。普段は直接原子力に携わってはおりませんが、日頃から考えておくことの重要性・大切さを痛感いたしました。本日は本当にありがとうございました。
  - ・消防団関係者として出席したが、市民が参加できる講演会を開催することでもっと原子力防災に対して意識が上がると思う。
  - ・資料の記述等について、活用させていただきます。ありがとうございました。
  - ・私は出雲市役所職員ですが、住民の方から「行政用語はわかりにくい」とか、すぐに対応できないハード事業であっても「すぐやれ、何をやっているんだ」と様々な意見を頂きます。感じた事として、住民との対話不足を感じましたので、日頃から安全について話し合う・対話が第一と痛感しました。リスクコミュニケーションを意識して行動したいと思います。
  - ・多くの方に聞いてほしいですね。
  - ・当方は理解できたが、地域の市民の方には言葉的に難しいかも知れない。もう少し、かみくだいた言葉での講演が必要かも。
  - ・役割についての話が、これからの私達が何をしていくか分かったような気がしました。
    1. 事業者の役割、
    2. 行政の役割、
    3. 市民の役割
  - ・原子力防災においては、細やかなリスクマネジメントを作らないといざ、有事の際、思うような対応がとれるか疑問に思う。
  - ・被災した際のパターンが幾つもあり、(自宅にいる・いない、屋内で工作中・屋外で仕事外、県内に出かける・県外にいる、家族といっしょ、離ればなれ etc)各自がオーダーメイドの避難対策を作る必要があるのではないだろうか。これがすべて済まない限り、再稼働を行うべきではないと考えるのは過失だろうか。
- 現在は、福島事故が収束していないので、行政側も再稼働を簡単に許可しないと思うが、これから先、税収の減少が進むと、人命>経済の図式が逆転することも考えられる。
- 子供は守るためという点から、遊具がなくなり、遊びが制限されているが、大人にも危険になるかもしれない。原発は「大丈夫」ということで取り除かれないのは何故か。行政（政府）や専門家に問いたい。これは基地の問題や、経済の問題にも通じないだろうか…。
- ・災害が実際に起こった時に何をすべきか何を考えなければならないか。安全に対して、自分ももう一度考えてみたいと思います。
  - ・島根県の道路を避難のための整備が必要。
  - ・初めて講演を聞きました。非常に有意義でした。

- ・これからも時々このような防災研修会に参加して、危機管理能力と危機意識を高めたい。
- ・観光で人が集まるより、防災強化が大切。そのとおりだと思います。
- ・原災が起きない事を願いながら説明を受けたが、本日の話しは全ての災害に当てはまる講話であったと思う。
- ・本日の講演会とっても参考になった。知らないことが多い。年に何回か講演会を実施してほしい。
- ・放射線のヒガイを子供達に知らせてほしい。
- ・原子力防災に関する自分の考え方が大きく誤っていない事が確認できた。しかし、原子力災害に伴う避難事象においては、やはり大きな混乱が発生せざるを得ず、「適切な」対応はあり得ないと思う。  
一方講師の指摘は机上の論理と感じられる部分も多く、実動ベースでは、大きく形を変えなければならぬ事も多々あると感じた。
- ・防災は普段の街づくりから始まる。町内会での普段の交流。
- ・テーマを分けたわかりやすい説明会。
- ・質問への野口先生のこたえがとてもよかった。
- ・すばらしい先生のお話を拝聴し、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・消防団として、もしもの時にどのように活動すべきか知りたくて参加しました。自分の地域はUPZに当たりますが、出雲地域は災害も少なく住民の関心も低いと感じます。住民の皆さまに災害・防災訓練にもっと参加してもらって、いざというときに対応できる地域になればと思います。
- ・今日の講師に対して「スポットライト」は対応すべき、先生に失礼です。  
放射能のこわさをもっと強調すべき。県側から話すより、皆から聞く説明の会が良いと思う。
- ・後半は市民にもなじみやすい内容で頭に入ってきやすかったです。
- ・随所に本来のあり方を教わる事ができた。
- ・危機管理におけるリスクの見極め判断について参考となった。原子力講演であったが、すべての防災に結びつく内容であり、大変参考となった。
- ・昼からの講演会だったので、眠くなるかと思いましたが、頭に入りやすく集中して聴くことが出来た。良かったと思います。
- ・今後の参考にしたい。
- ・地域ぐるみで防災を考える必要性を痛感した。